

米国留学準備を目的とした短期集中型 アメリカン・ソーシャルスキル学習セッションの記録 (4) — 3つの中級スキルに焦点を当てて —

岡山大学大学院社会文化科学研究科・田中 共子
一橋大学大学院法学研究科・高濱 愛

【序】

我々が開発してきた異文化間教育であるアメリカン・ソーシャルスキル学習においては、米国留学を予定している日本人学生を対象とした心理教育として、実験的セッションが行われている(高濱・田中,2009;高濱・田中,2011a)。これは米国社会で期待される行動パターンと背景にあるものの見方や考え方を学ぶ、小集団単位の認知行動的なセッションとしてデザインされている。

本稿では、第一期から第五期にわたって行われたこの実験的セッションのうち、第二期のセッションについて詳細な記録を振り返る。具体的には、セッション1日目の後半に扱ったスキル4「先生に質問する」、スキル5「授業で意見を言う」、スキル6「交渉する」の対話記録を報告する。スキル4は、留学先で履修した授業が難しく感じられるが、このまま続けて単位取得を達成するために、担当教員のオフィスを訪ねて相談する場面、スキル5は、授業中に話題となった日本の英語教育について、経験に基づいて話してみるという場面、スキル6は、学期末のテストに電子辞書を持ち込んでよいか教授に尋ねる場面である。3つのスキルともに、学校場面に題材をとっている。

第一期から第三期のセッションの結果は、高濱(2011)に詳しい。第二期セッションの方法は、高濱・田中(2010)に詳しい。そこで扱われたスキル1とスキル3のセッションにおける対話記録は高濱・田中(2011b)に、スキル7とスキル8の対話記録は高濱・田中(2012)に、スキル9とスキル10の対話記録は田中・高濱(2013)に報告されている。本稿と併せて参照することで、この試みについて細部にわたる把握ができる。以下にスキル4、スキル5とスキル6についての対話記録を振り返って、その教育的効果と手法上の課題について検討を加えたい。

【方法】

セッションの概要 高濱・田中(2010)に従って、2008年某月の連続する2日間に、日本のX大学においてアメリカン・ソーシャルスキル学習セッションを実施した。留学経験のある本稿筆者2名が講師を務め、ネイティブの助言役としてアメリカ人の男子交換留学生1名がボランティアで参加し、日本人学生2名がアシスタントとして雇用された。なおこのネイティブの助言者は、本人の都合によりスキル4の途中から参加した。

セッションでは、学習方法の説明に続いて、留学中に直面することが想定されるような課題場面が参加者に示される。自由に1回目の演技を行った後で、演技の録画を再生し、フィードバックやアドバイスを受ける。続いて初回と同じ要領で2回目の演技、およびフィードバックとアドバイスが行われる。最後にスキル実施の要領に関するまとめが行われた。

参加者 X大学の日本人の女子文科系学部生4名(S11、S12、S13、S14)。年齢は19歳から22歳であり、セッション後2カ月以内に、アメリカのY大学に交換留学生として約10カ月間留学予定であった。英語力は、Y大学への留学に必要とされる語学要件を全員満たしていた。S13が都合によりスキル7の学習を欠席した以外は、全員が全ての学習に参加していた。

学習内容 初日に初級・中級レベルに属するスキル1・3・4・5・6の5スキルを学び、2日目には上級レベルに属するスキル7・8・9・10の4スキルを学んだ。本稿ではスキル4「先生に質問する」、スキル5「授業で意見を言う」、スキル6「交渉する」の対話記録を報告する。テキストに記されたそれぞれの項目の記載内容は、以下の通り。なお括弧内の数字は、当該のスキルが記載されている参考文献(田中、1994)の頁を示す。

スキル4「先生に質問する」

課題場面 「留学して初めての学期に、あなたは自分の専門である言語学のクラスをとることにしました。以前日本で言語学概論(入門)の講義を履修し、言語学は得意だったので、言語学上級のクラスを選びました。授業を受けてみると、言語学専攻の現地の学生ばかりが参加していて、専門用語がたくさん使われていて、進むのが自分には早すぎるように感じられました。しかし、せっかくアメリカに来たのだから、この講義を履修し続けて、是非単位を取得したいと思っています。そこで、担当の先生にアポイントメントを取り、今後どうするかについて相談することにしました。何とかしたいという気持ちを先生に伝えるには、どうすればいいでしょうか」(pp.228-229)

ポイント 「先生に相談することは、学生の権利。攻めの学習態度を持って、積極的に自分の意欲を示して開拓して行きましょう」

解説 「アメリカの大学で学生として成功するためには、まず攻めの学習態度を持つことが大切です。例えば、アメリカでは、学生が先生に相談することは権利として認識されています。ですから、心配なことがあった時は、すすんで先生とアポイントメントをとって相談しに行きましょう。黙っていては、あなたが問題をかかえていることが先生には伝わりません。問題点を自分から伝えることで、先生も対応してくれることが期待できます」

スキル5「授業で意見を言う」

課題場面 「教育学の授業中に、日本の学校における英語教育が話題になりました。どうやら日本の学校では、どのように英語を勉強しているのか、先生もクラスメイトも興味を持っているようです。日本の英語教育全般について英語で話すのは難しいですが、今までの自分の経験からなら少しは話すことができそうです。次の先生の台詞に続けて、簡単に言えることを説

明してみましょう」(pp. 230-231)

ポイント 「授業中に発言することは、アメリカの大学で成功するために最も重要なことの1つ。自分の意見は必ず言きましょう」

解説 「先生から指された場合だけでなく、自分からも積極的にアピールして発言していきましょう。話の全体像がつかめていなくても大丈夫。経験に基づいた自分の意見を述べることも大切です。他のクラスメイトに遠慮をする必要はありません」

スキル6「交渉する」

課題場面 「学期末のテストが始まり、経済学のクラスでin class examを受けることになりました。これは、教室で学生が一斉に行う形式の試験です。持ち帰って行うレポート形式のtake home examならまだしも、この形式の試験となると心配です。留学してまだ数ヶ月なのに、初めて見る文章を辞書なしで読み、他のアメリカ人の学生と同じ時間内に解答できるのか。たとえ答えが分かったとしても、ボキャブラリーに不安があるだけに、ちゃんと英語の文章にできるのか。そこであなたは、担当の先生に事情を説明して、試験時間中に電子辞書の持ち込みを許可してくれるように頼んでみるのはどうかと考えました。運良く、授業の後で先生をつかまえることができたのですが、さて、どうやってあなたの希望を伝えればよいのでしょうか？」(pp. 232-233)

ポイント 「問題を感じたら、率直に先生に言いに行きましょう」

解説 「授業が始まったら、先生と話す必要が早速出てくる重要な話題として、テストと宿題のことがあげられます。テストや宿題に関して、特別な配慮を必要としているなら、先生にそれを伝えに行きましょう。なぜこのような要求をするのか、自分の状況と要求の理由をきちんと説明して、率直に相談するという姿勢を持ちましょう。そのような要求は失礼でも無神経でもありません。ハンディに見合った、むしろフェアな扱いを要求している、とみることもできるからです。先生の関心は、学生の意欲にあります。ハンディがあっても意欲的に学ぶ姿勢がある学生を、先生が応援してくれることも少なくありません。黙って諦めてしまうより、先生に言いに行ってみましょう」

セッションでは以上のスキルの要求水準や社会的機能、実施の要領が説明され、ロールプレイでの試行錯誤を通して行動リハーサルが行われ、行動レパトリーの拡充が目指される。文化的な発想を知り、社会文化的な文脈下での当該の行為の意味を理解するという文化学習と、新たな考え方による認知的再体制化と行動の要領の練習という認知行動学習が組み合わせられている。なお教室は試行の場であり、当該社会の社会文化的文脈のもとで実際に実行するかどうかは、本人の選択であることが説明されている。

【結果】

高濱・田中(2011b)のセッション対話記録の記載方法にならい、セッション当日の流れに沿って、(1)ロールプレイ1回目の演技の対話記録、(2)ロールプレイ1回目のフィードバックとまとめの要約、(3)ロールプレイ2回目の演技の対話記録、(4)ロールプレイ2回目のフィードバックとまとめの要約、の順に以下に記していく。対話は発話順に記載するが、プライバシーにかかわる部分は適宜修正を施した。Jの記号はネイティブ学生、T1は本稿の第二筆者、T2は第一筆者を表す。(2)と(4)の演技のフィードバックとまとめの要約の部分では、参加者の演技の感想、他の参加者やネイティブや講師からのフィードバック、ネイティブと講師からのアドバイス、参加者からの質問の4点の要約を記した。発言者は、フィードバック等のコメントの後に括弧内で示した。加えて、第1回目のフィードバック時に行われた、ネイティブと筆者による見本のロールプレイの対話記録と質疑応答についても記載した。

(1)スキル4・先生に質問する

スキル4の学習における、ロールプレイでの対話の記録およびフィードバックとまとめの要約を表1から表4に示す。ネイティブが1回目のフィードバックの途中から参加したため、1回目は参加者間で、2回目はネイティブを相手役に演技が行われている。1回目の演技では、S11とS14は会話につまんで、発話がとぎれる部分がみられる(表1)。1回目のフィードバック時には、参加者たちは先生への態度について、友人よりも丁寧にする必要があるのでないかと話し合っていた。そこへ参加したネイティブが、先生だからと言って心配せずリラックスするようにと助言している(表2)。二度目の演技では、ネイティブから新しい申し出が行われても、参加者はさほど戸惑うことなく対応している(表3)。

表1 スキル4・ロールプレイ1回目の対話

<S11の演技(相手役はS13)>	<S13の演技(相手役はS14)>	<S14の演技(相手役はS12)>	<S12の演技(相手役はS11)>
<p>S11:Excuse me? S13:Yes? S11:Can I ask a favor of you? S13:Ah, ok. S11:I have...I took your class. But it is difficult for me. S13:Oh, really? S11:I took the basic of international law in X (地名), sorry, it's Japan. But my English is weak, and the professional word is difficult for me. But I want to get score, ... credit. S13:So, what can I do for you? S11:After class,... I want to,... please give me ... the time. S13:Yeah? Yeah, That's OK. S11:... and ask a question. S13:Ok, I understand. So, after my class, please come to my room. S11:Thank you.</p>	<p>S13:Excuse me. I'm S13. I'm exchange student from Japan. I have your business law class. In Japan, I studied Japanese business law for two years. So I want to study about it in this university, too. But your class is a little bit difficult for me. I have many points I couldn't understand. So, can you tell me about it after your class? S14:After my class? It's OK. S13:I would like to visit your room every after your class. Is it OK? S14:OK. Of course. S13:Thank you. I'm really interested in your class. So, I'll do my best. S14:I'm very glad to hear that. So, I'll be my best... for you. S13:Thank you. Thank you so much.</p>	<p>S14:Excuse me. S12:Hi. S14:My name is S14. I'm a student from Japan. I'm an exchanged student. And I came to this university to study education, and I take your class of education. But, sometimes I feel difficulty. It's very... high speed. I can't understand the word and content. But I want to study a lot from this university and your class. So, I want to continue your lesson. S12:How can I help you? S14:If is it OK, I want you to take extra lesson for me. S12:Ah, OK. S14:OK? Thank you. After your class, if you have free time, please ... please...make me...take lesson. S12:OK. S14:Thank you.</p>	<p>S12:Excuse me? I take your class. Your class is very interesting, and I want to take your class. But it's so difficult that I can't understand all of your education class. So if you don't mind, can I record in your class? S11:Of course, it's OK. S12:I can, OK? Oh, thank you. I'll try to study hard in your class. S11:OK. S12:Thank you.</p>

表2 スキル4・ロールプレイ1回目のフィードバックとまとめの要約

一回目感想	質問	見本
先生になんていったらいいかわからない(全員)	When I ask the professor, is it better to say more polite way? (S14)	J: Excuse me, professor? T1: Yes, hello?
フィードバック一回目	Yes. Say, "please", act relax and nice.(J)	J: I have some problems in the class, that I'd like to talk to you about.
【S11の演技】	【S12の演技】	T1: Sure.
時間とれますかときいていたのがよかった(S12, S14)	興味がある、楽しいといった後で問題をいった(S11)	J: Yesterday, my test was very difficult. I had such hard time. I'm worried about my next test. Is there anything sort of reading that I can do that will help me do that?
友達のときは異なり先生に対して適切な態度だった(S13)	If you don't mind,といった丁寧な表現があった(S13)	T1: Sure I'd be happy to give you some material that I think is good for you.
単語が出てこない(S11)	教授を立てていた雰囲気があった(S14)	J: Thank you very much. Is it OK if I come here during office hours next week to talk about it?
【S13の演技】	If you don't mind, good expression.(J)	T1: Sure. What time is... my office hours are Thursday from 3 to 5. Is it good for you?
自己紹介があった(S11)	質問	J: Thursday will be great. See you then. Thank you very much.
～していただけませんかという表現を勉強した(S13)	Would you tell me polite expressions?(S12)	T1: See you then. Bye.
簡潔でよかった(S14)	"I want to take your class" というよりも "Would you mind if I take your class?"の方が丁寧(J)	自己紹介→問題→自分が何をしてほしいか の順にいうこと(T1)
意欲的(S12)	アドバイス	You can also make a request.(J)
【S14の演技】	緊張しなくてよい。ききにくい姿勢をもつ、予約をとることから(T1)	話す内容のプランをもっていくこと(T2)
興味があることを示していた(S13)	意欲を示す(T1)	
自分のことをしっかり説明できていた(S11)	Tell them you really need help.(J)	
何がわからないか明確(S12)	授業の後はタイミングよさそう(T2)	
When you approach teachers, you don't feel nervous. They will be very happy to give you extra work or meeting.(J)	忙しくないときに頼む、友達に頼む、TAに頼む(T1)	

表3 スキル4・ロールプレイ2回目の対話

<S11の演技>	<S13の演技>	<S14の演技>	<S12の演技>
<p>S11:Excuse me? J: Come on, come in. S11:Do you have free time now? J: Yes, I do. S11:I'm S11. I'm exchanged student from Japan. I am taking your class now. But I am... I have a problem. Your lecture is very interesting for me, but your speaking is too fast for me, and I can't understand your technical words. So it's difficult for me to take notes. If you don't mind... would it be possible to check my note after class? J: Yes, it would be. Maybe ten or fifteen minutes after class, I return to my office. If you could come to my office, we can talk about it a little bit. And I would be able to help you, go over your notes. You can tell me what you didn't understand. And I'll explain it to you. So I'd be happy to help you. S11:Thank you. J: You're welcome.</p>	<p>S13:Excuse me? J: Hello. S13:I'm S13. I'm an exchanged student from Japan. I have your class... your business law class. In Japan, I studied about basic laws for three years. And I'm really interested in your class. But I have some... some difficult points that I can't understand in your class. So if you don't mind, I want... I want a short summary of your class. So please teach me again. J: All right. That sounds good. During my office hours next week. I'll copy off my notes and I will give you some of my lecture notes that will help you. S13:Really? Thank you. If I find another difficult point, can I visit your office? J: Yes. You're free to visit my office during my office hours anytime. S13:Thank you. J: If you need help any other time, email me. And we can see. S13:Thank you very much. I'll do my best.</p>	<p>J: Come in. S14:Excuse me. May I talk you for a minute? J: Yes, you may. S14:I am taking your class, about education. And I'm... every day... every week I'm looking forward to take your class. But sometimes I have difficulty; there are many difficult technical words which I can't understand. So after the class, I sometimes feel difficult to take your class. But I want to take your class, because I'm very interested in education and your class. So if you don't mind... after your class, may I ask you some questions? J: Yes, you may. Please feel free to ask me any questions that you may have about my lectures. I'm happy to help you. And if you don't know any words, just ask me. I'll try to clarify them as best as possible. S14:Thank you very much. J: You're welcome. S14:After the lesson? J: Yes, after the lesson is fine. S14:Please give me a lecture? J: Yes. S14:Thank you.</p>	<p>S12:Excuse me, professor? J: Please come in. S12:Thank you. Do you have a time? J: Yes, I do. S12:Thank you. My name is S12. I take your class. Your class is really interesting and I want to take and pass your test. But your class is a little bit difficult for me. There are some difficult professional vocabulary, and...little fast. So, if you don't mind, I want to record by this tape recorder in your class. J: Yes, that's OK. And just with your tape recorder, try not to make too much noise. Sit in front of the room, so you can tape quite well. And feel free to tape record but don't sell it or anything. S12: Thank you. Thank you again. J: You're welcome. Take care.</p>

表4 スキル4・ロールプレイ2回目のフィードバックとまとめの要約

二回目感想	フィードバック二回目	質問
<p>さっきよりもいわなきゃいけないこと伝えないと、と思った。緊張した(S14)</p> <p>ありがとう連発してしまった(S12)</p> <p>言葉のミスより喋るのが一番大事(T2)</p>	<p>【S11の演技】</p> <p>何のことでできたのかがはっきりしていた(S12)</p> <p>“Excuse me. Could I speak to you a couple of minutes?” Excuse meはよい出だし(J)</p> <p>“Thank you for your time.” “See you class next Tuesday.” 会話はこのように終わらせる(J)</p> <p>【S13の演技】</p> <p>話し方がうまい、印象よい(S11)</p> <p>やわらかい、説明がうまい(S14)</p> <p>【S14の演技】</p> <p>問題を詳しく説明していてよく伝わったと思う(S12)</p> <p>名前をいい忘れた、あせる(S14)</p> <p>自分の名前とクラス名をいう(T2)</p> <p>あいづちがたくさんあった(S13)</p>	<p>あいづちに、ん～、あ～とっていかどうか(S14)</p> <p>It depends, but usually “yes” or “no.” (J)</p> <p>【S12の演技】</p> <p>ジェスチャーがよい。(S11) (J)</p> <p>話すスピード、声の大きさが適切。(S13)</p> <p>相手が理解しているのを感じて話している、一方通行ではなかった。(S14)</p> <p>コメント</p>
		<p>If teachers are not nice, talk to counselors. (J)</p> <p>(先生を訪ねるのは) Extra jobではなくordinary jobなので安心していきましょう(T2)</p>

(2) スキル5・授業で意見を言う

ロールプレイの1回目の演技(表5、表6)では、困難を感じながら演技をしているが、2回目の演技(表7、表8)では自分の体験や意見といった新しい情報が追加され、発話量が増加している。それに対してネイティブは、参加者が自分の意見を話せていたとして評価している。S11は「もっとふくらませたい」、S14は「自分の意見を言えるようにしたい」と、さらなる向上を目指す意欲的な発言をしている。

表5 スキル5・ロールプレイ1回目

<p>S12: In my junior high school, at first, we study about English grammar, and second, we talk with my friends including the grammar. We study English like this.</p>	<p>S14:When I was a child, beginning English education is usually from junior high school. But now, there are many a lot of needs from Japanese parents. Many Japanese people are interested in speaking English and using English. So there is a movement of starting English education from elementary school. Maybe three or four years later, it's begin. So I think, English is more important tool for Japanese. And many people are interested in, I think.</p>	<p>S13:In Japan, English education... starts from when we are junior high school students. But now, many Japanese feel we should study English more. So as Yuka said, in elementary school, we will study English soon. And in Japan... in Japanese education, we study about grammar and vocabulary maybe, so, in daily life we are not good at speak English. Thank you.</p>	<p>S11:Japanese people must study English for six years at junior high school and high school. And some people study English after ... in college or university. Recently, elementary school, we have English class sometimes.</p>
--	--	--	--

表6 スキル5・ロールプレイ1回目のフィードバックとまとめの要約

<p style="text-align: center;">一回目感想</p> <p>難しかった(全員) 日本のことを聞かれたら、いいたいけど、うまく言えない。準備が必要だ(S14) 今だったら大統領選挙についてきかれるかも(S13)</p>	<p>【S13の演技】 自分が言いたいことを詳しく説明できていた(S12) 小学校から始まること、実際にしていることを言えていてわかりやすい(S14) 具体的(S11) 理解しやすく、詳細も述べられていた(J)</p>	<p style="text-align: center;">見本</p> <p>J: Well, when I was in high school, we were required to take four years of a foreign language. And we had to choose when we were freshmen. We have four years of high school in America. When we were freshmen, we had to choose out of five languages. My school offered, from the top of my head if I can remember, Chinese, Japanese, French, Latin and Spanish. And we had to pick one to study throughout high school. So that is where we start learning foreign languages. When we graduate, Some of us are good at our foreign language. But others can just pass and be fine with it. But If you study very hard, often times, people continue the foreign languages that they started learning in high school in college or university. Because universities also require a foreign language in United States.</p>
<p style="text-align: center;">一回目フィードバック</p> <p>【S12の演技】 順番にいていた。体験があった(S14) 簡潔に表現されていた(S13) 順序立てていたのでわかりやすい(S11) It's good, you said firstly, secondly. (J) もっと説明することがいっぱいあったのに、一つのことしかいえなかった(S12)</p> <p>【S14の演技】 どうして英語を学ぶのか述べられていた(S11) さすが(S13) 内容が詳しくあった(S12) 英語教育についてどう考えるかについて詳しく、よい説明ができていた(J)</p>	<p>【S11の演技】 最近の日本のことを言っていた(S12) 落ち着いて話していた(S14) 教育の長さに焦点を絞られていて分かりやすかった(S13) The way you spoke is very good. (pauseがよい) (J) もう少し自分の体験も入れて話したらいいかなと思った(S11)</p> <p style="text-align: center;">アドバイス</p> <p>Personal experiences make them feel closer. Talk about yourself, and make everyone comfortable.(J) Opinion's very good. 授業中手をあげよう(J) 手を挙げて意見を言う→クラスに貢献することにつながる(T1) 立派なことじゃなくてよい(T2) 授業が少々わからなくても意見をいっていい(T1)</p>	<p>きいていてイメージできる(S12) 簡潔にまとまっていた、わかりやすい英語(S11)</p>

表7 スキル5・ロールプレイ2回目

<p>S12:Most Japanese think English education is one of the most important, one of the most important subject... Most Japanese study about English for six years from junior high school to high school. After enter... after we enter university, we can ... we can choose the subject whether we take English class or not. For example, in my junior high school, the teacher focused on writing... writing and reading. But I think... the teacher should ... the teacher have to focus on speaking and listening more. And I want to change ... I want to change Japanese style. Thank you.</p>	<p>S14:English education is one of the most hot topic of... in Japan. In general, from junior high school we start... to start to study English as a second language. But now... there are needs to speak English. Because many foreigner come to Japan, and we have chance to speak English more. And we have to study English for enter the examination for university. So many people think English is useful, and we must study. And parents expect children to study English more earlier age. So now, To study elementary school is...studying from elementary school, maybe begin in three or four years. But there are many problems too. There are not many teacher who can speak English and teach English. And we have to study Japanese, too. To study English from elementary school is, maybe, a little early. So in Japan, there are many discussions about English education. I think it's hot topic. Thank you.</p>	<p>S13:In Japan, we start studying English when we are junior high school students. But as S14 said, now in Japan, maybe we will start English education from elementary school. But I don't agree with the opinion because I think we should have main language, and main language is very... very important to think deeper and wider. So I don't agree with the opinion we start English earlier. And as S12 said, in Japan English teachers teach English vocabulary and grammar mainly, so we can't use the knowledge to...in daily life. So I think when we are junior high school students, we should enjoy English education more and speak English in class room or talk with native speakers. That's all.</p>	<p>S11:Japanese people must study English for six years at junior school and high school. Some people major in English at university or college. Recently elementary school has some English class. At high school, I studied English about five times a week. Japanese people study English grammatically and reading, writing, maybe. So listening and conversation we are weakness of Japanese students. I think we study more listening or conversation. Thank you.</p>
---	--	---	---

表8 スキル5・ロールプレイ2回目のフィードバックとまとめの要約

二回目感想	二回目フィードバック	質問
<p>二回目はどうしようと思っていった？ (T2)</p> <p>自分の意見を入れたいけど、理由もいるし、むずかしい(S14)</p> <p>全く興味のないことだったらいえないかも (S13)</p>	<p>【S12の演技】</p> <p>自分の意見が伝わってきた、for exampleなどの接続詞が適切に使えていた(S14)</p> <p>前回よりも自分の意見や、例があってわかりやすかった(S13)</p> <p>具体的になった(S11)</p> <p>Ah…ってたくさんいっていた。You knowとかいうはずなのに。考える習慣をつけないといけないと思った(S12)</p> <p>Very good. 自分の意見を言えていた。個人の体験を話すと面白いと思ってくれる(J)</p>	<p>疑問点もオピニオンになるか(T2)なる(J)</p> <p>【S11の演技】</p> <p>流暢なのがうらやましい(S12)</p> <p>体験を言って、それから上手にオピニオンを言っていた(S14)</p> <p>Good. You gave your opinion. (J)</p> <p>具体的に経験を入れられた。もっと膨らませたいと思った(S11)</p>
<p>質問</p> <p>If they have no opinion, what should they in return?(T2)</p> <p>You don't have to make up opinion. Don't worry about it. 意見がない時でも、詳しく説明するようにすること (J)</p>	<p>【S14の演技】</p> <p>ジェスチャーがあって、あったほうがいいなと思った(S12)</p> <p>内容がさらに濃くなっていた (S13)(S11)</p> <p>Very good. very easy to understand. your presentation was very good.(J)</p> <p>言いたいことはたくさんあるけどまとまらない、よく考えてこれが自分の意見だといえるようにしたい(S14)</p> <p>【S13の演技】</p> <p>自分の意見がしっかり伝えられていた(S12)</p> <p>冷静、順序だてて言っていた(S14)</p> <p>アイコンタクトがとれていた(S11)</p> <p>Great. 表情と伝え方がよい。You put your opinion in conclusion, that's very good. (J)</p> <p>疑問点を述べてみた(S13)</p>	<p>コメント</p> <p>Eye contact is very important. (J)</p> <p>Don't hide behind your paper. If you make a mistake, rephrase something, then move on. Don't get too stressed out. Keep going. (J)</p>

(3)スキル6・交渉する

1回目の演技(表9)に続く、1回目のフィードバック(表10)で、S12とS13は、具体的にどのように行動したら良いかをネイティブに積極的に質問している。2回目の演技(表11)では、1回目のフィードバックで得た表現を取り入れながら演技を行っている。

表9 スキル6・ロールプレイ1回目

<S13の演技>	<S14の演技>	<S12の演技>	<S11の演技>
<p>J: Please come in.</p> <p>S13: Hi, excuse me, professor... professor J. Are you free now?</p> <p>J: Yes, I am.</p> <p>S13: I have a favor of you about next final exam. I'm an exchanged student from Japan. And I have your class. I understand about your class. So I want to take your exam, but I don't know... I don't have enough vocabulary to answer the question. So I want to bring electronical dictionary to your exam. I will use only Japanese English dictionary, and not like encyclopedia. So please... can I bring it?</p> <p>J: Yes, you may. During the test, I'll stop by just to look at it once in a while. But you can use an electronic dictionary, just for the words though.</p> <p>S13: Oh, thank you.</p> <p>J: You are welcome.</p>	<p>J: Come in.</p> <p>S14: Excuse me. My name is S14. I'm taking your class. And next week, there is a big examination of your class. But I am an exchange student from Japan. And I came to Y (米国の地名) two months ago. So I don't have enough ... enough vocabulary or technical words of your class. So I think there are difficulties to answer the question of examination because of the vocabulary, not of knowledge. So I want to ask you to carry...ask you...I want to carry my ... I want to bring my electronical dictionary to translate Japanese to English. I promise you to use electronical dictionary just to translate. So please ...please...if you don't mind, please give me a chance.</p> <p>J: Yes, I don't see any problem with that, so feel free to bring it next time and I'll look at it beforehand. But, yes, yes, you may.</p> <p>S14: Thank you.</p> <p>J: You're welcome.</p> <p>S14: I'll do my best.</p> <p>J: Do your best.</p> <p>S14: Thank you very much.</p>	<p>J: Come in.</p> <p>S12: Excuse me, professor. I have a favor of you about in...ah... about your test. My name is S12. I came here a month ago. I can understand your class. But I am concerned about English vocabulary. So if you don't mind,... can I allow to use electronical dictionary in your test?</p> <p>J: Yes, you may use the electronic dictionary. But only use the dictionary function. But I don't see any problem with that so you may bring it.</p> <p>S12: Yes, of course. Thank you.</p>	<p>J: Come in.</p> <p>S11: Excuse me. Do you have free time now ?</p> <p>J: Yes, I do.</p> <p>S11: I am an exchanged student from Japan. And I'm S11. I'm taking your class. I'm worried about the examination. I can't understand the meaning of technical word. So ... I ... if I find the answer, but I can't write it down. So may I ask... may I use the electric dictionary in your examination?</p> <p>J: Yes, you may. Bring your electronic dictionary. I'll look at it before the test but please bring it. That way you will be able to understand what the questions are asking. Good luck.</p> <p>S11: Thank you.</p> <p>J: You're welcome.</p>

表10 スキル6・ロールプレイ1回目のフィードバックとまとめの要約

一回目感想	質問	質問
<p>難しかった。何をいわないといけな いかわからない(S14)</p> <p>電子辞書はいろんな辞書がある (S13)</p> <p>先生にとりあえずきいてみよう (T2)</p>	<p>辞書を持ってきたいというのに、ど ういう順序でいったらよいか(S13)</p> <p>自己紹介⇒授業をエンジョイしてい る⇒テストの単語が難しいことを説 明する、という順が良い(J)</p>	<p>説明の長さはどれくらいがいいか (S12)</p> <p>It depends. Maybe saying more about skills of English, make the teacher understand better your situation.(J)</p> <p>S12' s conversation is not too short. You said why you need it. Fine.(J)</p>
<p>一回目フィードバック</p> <p>【S13の演技】</p> <p>電子辞書を「翻訳するために使う」こ とをうまく伝えられていたと思う (S12)</p> <p>前の教授に会いに行くときの注意点 が生かされていた(S14)</p> <p>辞書を持ち込みたい理由が表現され ていてよかった(S11)</p> <p>You gave the insurance, you won' t use encyclopedia. Good. (J)</p> <p>何をいうか先に考えてから言ったほ うがいいと思った(S13)</p>	<p>【S14の演技】</p> <p>自己紹介から始まって順序がよい (S12)</p> <p>辞書の用途まで説明があった(S11)</p> <p>Good. you explained why you need to use the dictionary. You explained you understand what' s going on, materials, but you don' t understand some words.(J)</p> <p>【S12の演技】</p> <p>丁寧に依頼して、来た目的も言えて いた(S13)</p> <p>順序がよかった(S14)</p> <p>Good!(J)</p> <p>説明が短かったかも(S12)</p>	<p>【S11の演技】</p> <p>わかりやすいようにお願いしていた (S12)</p> <p>教授に対する配慮ができるように なっていた(S14)</p> <p>Very good. Your order' s very well. You said a reason, and asked a question.(J)</p> <p>私も説明短いかと思った(S11)</p> <p>短くてポイントを押さえていた(J)</p>
<p>S13への質問</p> <p>Contentはどんなことをいったらよ いか(T2)</p> <p>まず自己紹介、がんばっていること をいう、英語力が足りず難しいと伝 える、辞書を持ってきたいという順 がよいと思う(S13)</p>		<p>見本</p> <p>J: Excuse me, professor, do you have a couple of minutes to spare? T1: Sure.</p> <p>J:I was taking your class, our business law class. And I understand the materials, and I really enjoy your class. But I' m a bit worried about the exam. There are some technical words that I run into every once in a while. And I don' t know the definitions, and don' t know what they mean. So I have an electronic dictionary. I was wondering if it would be alright for me to use that only the exam. T1: Sure. That will be no problem.</p> <p>J: Thank you very much. Thank you for your time. T1: Sure.</p>

表11 スキル6・ロールプレイ2回目

<S13の演技>	<S14の演技>	<S12の演技>	<S11の演技>
<p>J: Come in.</p> <p>S13:Hello, professor. Could you have a couple of minutes to talk to me?</p> <p>J: Yes, I have a few minutes.</p> <p>S13:I am a exchange student from Japan. And I have your class, business law class. In Japan, I belong to the Faculty of Z (学部名) and studied about it for three years. So I'm really interested in your class. And I tried to understand your class for this three months. So I want to take your final examination, but I'm worried about a problem. I can't express my opinion even if... I have... I have another. So can I bring my electronic dictionary to your class, your exam? I will use only Japanese-English dictionary, not like an encyclopedia. So can I use it?</p> <p>J: Yes, you may. That's fine with me.</p> <p>S13:Really?</p> <p>J: Yes.</p> <p>S13:Thank you so much.</p> <p>J: You're welcome.</p> <p>S13:And thank you for your time.</p>	<p>J: Come in.</p> <p>S14:Excuse me, professor. My name is S14. I'm taking your class. Can I talk to you for a minute?</p> <p>J:Yes, you may.</p> <p>S14:Thank you. Next week, I have a examination of your class. Now I prepare and study for your class, examination. But I wonder... the English vocabulary in the examination... I came from Japan, as exchanged student. And came here ... two months ago. So I don't have enough vocabulary of English technical words. So I think in the examination paper, there are words which I can't understand mean. So if you don't mind, please, can I bring my electronical dictionary?</p> <p>J: Sure. That's fine. You can use your electronic dictionary for the test.</p> <p>S14:Thank you.</p> <p>J: You're welcome.</p> <p>S14:I promise you to only to use to translate.</p> <p>J: OK. Sounds good.</p> <p>S14:Thank you for your time.</p>	<p>J: Come in.</p> <p>S12:Excuse me, professor? Do you have a couple of time?</p> <p>J: Yes I do.</p> <p>S12:Thank you. My name is S12. I'm taking your class. I came here a month ago... Maybe... I'll take your test in Japanese, I can pass your test. But I'm concerned about English vocabulary. So can I allow to use electronical dictionary?</p> <p>J: Yes, that's OK.</p> <p>S12:Thank you.</p> <p>J: You're welcome.</p> <p>S12:Thank you for your time.</p>	<p>J: Come in.</p> <p>S11:Excuse me ? Are you free now?</p> <p>J: Yes, I am.</p> <p>S11:I am... I came here two month ago, as an exchanged student. And I am taking your economic class. But I am worried about the examination. I can't understand the meaning of technical words and the definition. So I want to use the electronic dictionary in the examination. I just use it to look up the technical words. May I use it?</p> <p>J:Yes, you may. Good luck on your test.</p> <p>S11:Thank you. Thank you for your time.</p>

表12 スキル6・ロールプレイ2回目のフィードバックとまとめの要約

二回目感想	質問	質問
<p>いいたいことがありすぎて混乱。厳選したほうがいいのかも。セレクトできなかった(S12)</p>	<p>Thank you for your time は使える表現か(T2) Yes. But just once. Thank you. Thank you for your time.のように二回も言わなくてよい。(J)</p>	<p>いつリクエストをいったらいいのか(S13) You don't have to ask about an electronic dictionary first. You could tell them you are just a little bit worried, from the beginning.(J)</p>
質問	<p>【S14の演技】 今までのよかったところを集めて、わかりやすかった(S13) 丁寧な表現が多くよかった(S12)</p>	
<p>いいたいことを整理せずにいったらどうなるか(T2) むしろ普段の会話はjumpすることが多い。礼儀正しくいうこと(J)</p>	<p>問題があったらいいに行く姿勢が大事(T1) 黙ってがまんはよいことではない、打開策を見つけていく姿勢で(T2) It's better to ask than not asking (J)</p>	
二回目フィードバック	<p>【S12の演技】 ～してもらえますかというのが丁寧だったのがよい(S11) 問題は～～だけだ、と言っていてよかったと思った(S13) Fine.(J) 会話が止まってしまうけど、できることをしようと思った(S12)</p>	
<p>【S13の演技】 Thank you for your timeをさっそく取り入れていた(S11)</p>	<p>【S11の演技】 順序立ててお願いしていた(S12) さっきよりもよくなっていて、教授にも伝わりそう(S14) Fine(J) 状況、理由、リクエストの三点がそろっている、丁寧(T2)</p>	

【考察】

演技の記録をみると、日米の学校場面での社会的規範の違いを理解しながら、期待される行動の質的な違いや要求水準の違いを反映させた演技が試されている。ネイティブの助言から目指す方向やその場面での行動の狙いを判断し、自らのパフォーマンスを目標に近づけようと努力している様子が伺える。

教育的効果については、セッション内のパフォーマンスの向上がネイティブのコメントから、発話の量と内容の豊富さの向上が対話記録から伺える。この演技記録を取めたDVDをみた、第三者であるネイティブのコメントをまとめた報告がある(田中・高濱、2011)。そこでは、1回目の演技では、努力と意欲は伝わるものの、言語面・非言語面ともに不十分とする意見が、3つのスキルに共通してみられた。しかし2回目の演技については、まだ向上の余地はあるとしながらも、より肯定的な評価が与えられていた。具体的には、スキル4では説明方法が改善されて自信が出た、スキル5では内容が豊かになった、スキル6では援助希求が適切になされていたなどである。これらはセッションに参加したネイティブが教育的視点を持ってコメントしていたのとは異なり、教育的意図を持たない第三者の立場からみたネイティブのコメントである。参加者の演技が、2回目にはマイクロ・マクロレベルの両面でより好印象を与えられるものになっていたことが示唆される。

今回扱ったスキル4、スキル5、スキル6について、これまでに報告されたセッション後の自己評定(高濱・田中、2010)の結果と対応させて考えてみよう。すべてのスキルにおいて、参加者の4名全員が、自分の演技は1回目よりも2回目の方が向上したと認識していた。また、1回目と2回目の演技の変化としては、まだ緊張したり十分な自信が得られるには至っていないと感じつつも、落ち着いて演技できるようになったり、助言をいかそうとしたりしている、と述べている。今回の対話記録やフィードバックのコメントの詳細には、こうした認識を反映した具体的な対話や発話をみることができる。

手法上の課題について考えてみた場合、二回の演技の練習回数の問題が考えられる。各参加者は今後の豊富や目標として、それぞれが意識するポイントを挙げている。これらは、今回の演技が行動リハーサルとして十分に効果を持つためには、より多くの試行錯誤と習熟が必要なことを示唆している。本人の意図を正確に行為へと変換するためには、文脈に即した行動の方針を持つのみならず、外国語を用いてそれを的確に表現する必要がある、母語で演技する場合よりもさらに多くの練習を必要とする可能性があるだろう。

今後はこれらのスキルの実生活における実施頻度、実施した際の反応、異文化適応過程への影響について、縦断研究を通じてさらに深く検討していきたい。

引用文献

- 高濱愛(2011)『日本人留学生を対象とする文化行動学習プログラムの開発と実践』2007～2008年度科学研究費補助金(萌芽研究)研究成果報告書
(<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/19324>)
- 高濱愛・田中共子(2009)「アメリカ留学準備のためのソーシャル・スキル学習の試み—アサーションに焦点を当てて—」『異文化間教育』30、pp.104-110.
- 高濱愛・田中共子(2010)「米国留学予定の日本人学生を対象としたソーシャルスキル学習」『一橋大学国際教育センター紀要』創刊号、pp.67-76.
- 高濱愛・田中共子(2011a)「派遣留学生の教育的トータルサポートシステム構築へ向けて：日本人留学生を対象とした留学前および帰国後教育プログラムの試み」ウェブマガジン『留学交流』2011年7月号
(http://www.jasso.go.jp/about/documents/aitakahama_tomokotanaka.pdf)
- 高濱愛・田中共子(2011b)「米国留学準備を目的とした短期集中型アメリカン・ソーシャルスキル学習セッションの記録(1)—自己紹介と対人関係の開始に焦点を当てて—」『一橋大学国際教育センター紀要』第2号、pp.123-132.
- 高濱愛・田中共子(2012)「米国留学準備を目的とした短期集中型アメリカン・ソーシャル・スキル学習セッションの記録(2)—アサーションに焦点を当てて—」『人文・自然研究』6号、pp.144-163.
- 田中共子(1994)『アメリカ留学ソーシャルスキル 通じる前向き会話術』アルク
- 田中共子・高濱愛(2011)「アメリカン・ソーシャルスキル学習における演技の他者評価(1)：導入的な5スキルに対する学習者のパフォーマンスへのネイティブのコメント」『岡山大学文学部紀要』第55号、pp. 17-30.
- 田中共子・高濱愛(2013)「米国留学準備を目的とした短期集中型アメリカン・ソーシャルスキル学習セッションの記録(3)—自己開示とジョークに焦点を当てて—」『岡山大学文学部紀要』第59号、pp. 17-27.

註

1. 本研究は、科学研究費補助金・萌芽研究No. 19653099(代表・高濱 愛)の助成を受けた。
2. 上記補助金による研究組織の代表者は本稿の第二著者であり、第一著者はその分担者である。研究の企画・実施・分析を共同して行った。本稿の主な執筆作業を第一著者が担当した。